



日時：2025 年 5 月 22 日（木）19:00～20:30

会場：

出席： 赤木 禎治、石津 智子、稲井 慶、今井 靖、岩田 祐輔、上村 秀樹、榎本 淳子、大内 秀雄、落合 亮太、小野 博、笠原 真悟、齋木 佳克、坂田 泰史、坂本 一郎、塩瀬 明、庄田 守男、立野 滋、辻田 賢一、中埜 信太郎、籾 義仁、兵藤 博信、平田 康隆、水野 芳子、宮崎 文、八尾 厚史、山岸 敬幸、山村 健一郎(27 名)

欠席： 桂木 真司、新川 武史、瀬尾 由広、先崎 秀明、照井 克生、長坂 安子、檜垣 高史、平松 健司、三谷 義英、安田 聡、吉松 淳、(11 名)

監事：松尾 浩三、森 善樹

顧問：市田 露子、丹羽 公一郎、松田 暉(欠席)

1. 開会

理事の過半数が出席したため、理事会が成立し審議を行った。

2. 報告事項

報告事項 1：前回議事録報告（担当：赤木理事）

報告事項 2：臨床研究についての報告（担当：稲井理事）【資料 1】

医局員のノートパソコン紛失により、適切な倫理審査を受けていないデータが判明した。患者への謝罪を進め、当該 3 件の演題は取り下げとする方針が示され、理事会で承認された。庄田理事より、学会としてのルールの明確化の必要性が指摘され、今後学術委員会で検討することとなった。

報告事項 3：各委員会委員長より報告（各委員長）

・将来構想委員会（赤木理事、稲井理事）

2026 年度理事、評議員改選について、退任理事の補充を行う、という大まかな方針が示された。

・学術委員会（稲井理事）

研究部会（石津理事）

賞の受賞後に学会を辞めたいとの申し出があったことを受け、規約を改善する予定である。

教育部会（山村理事）

5/25(日) 第 32 回セミナー開催予定。秋のセミナーの日程調整も近日中に行う予定である。

YIA 選考部会（八尾理事）

これから募集の予定であることが報告された。

学術集会企画部会（檜垣理事）

・学会編集委員会（坂本理事）

症例報告を多く投稿頂き、順調に発刊予定であることが報告された。

・専門医制度委員会（石津理事） 【資料 2, 資料 3】

専門医修練施設について(赤木理事長)

2024 年 4 月に新たな専門修練施設が増加し、104 施設でスタートしたことが報告された。維持・教育機会・人材育成が課題として挙げられた。

試験問題作成部会（宮崎理事）

今後の作業過程の確認が行われた。

専門医認定部会（立野理事）【資料 4】

専門医試験受験申請に関して報告が行われた。

修練施設部会（八尾理事）

・移行医療・専門医制度普及委員会（三谷理事、代理 赤木理事長）

修練施設の維持、育成に注力する方針が報告された

・倫理委員会（宮崎理事）

・保険委員会（小野理事）【資料 5】

令和 8 年資料集会の提案書を内保連へ提出し、7 月に厚労省ヒアリングが予定されていることが報告された。診療報酬に関する学会の立場や移行期医療支援、妊娠・出産カウンセリング加算の検討状況が報告された。

・移植委員会（齋木理事）

重症心不全患者の移植機会確保、国際レジストリへの対応を進めている。国内データベース統合が進行中であること、小児期からの心不全患者を主な対象とし、

米国を中心に発展している国際的なレジストリへの参加とコネクション構築、移植ネットワークデータベースの活用、NCD ネットワーク活用（今後の課題）が報告された。

・日循ガイドライン

発刊後の注目度が高く、ACHD NIGHT でも視聴者が多いことが報告された。

・渉外委員会（笠原理事、赤木理事長）

2025 CKJ Heart Forum in Xiamen に赤木理事らが参加予定。

2026 APSACHD Symposium in Thailand について、2025 は World Congress があるので1年延期で2026になった。

2027年は韓国開催の予定。

オーストラリアから開催希望があったが、2028年以降になる見込み。オーストラリアとニュージーランドの年1回の会との兼ね合いあり。

・広報交流委員会(山村理事)

ACHD TIMES は38号まで刊行。Journal watch も教育部会の先生の御協力のおかげで順調であることが報告された。

・財務委員会(立野理事)

特になし

・多職種専門職委員会(水野理事)

来週会議があり、セミナーでの多職種セッションの希望などを話し合う予定。

<関連委員会>

・日本循環器学会学術委員会、先天性心疾患成人先天性心疾患部会（山岸理事）

・成人先天性心疾患対策委員会：循環器内科ネットワーク(八尾理事)

前回のレジストリ論文から5年経つので、次の報告を計画中。多施設共同研究も進行中。

報告事項4：

第27回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（坂田理事）

以下の報告があった：新理事長セッションを調整する。これまでの各委員会セッションを全てするのは難しいかもしれないが、6月中には決めたい。評議員会と理事会は前日夕方になりそうである。ポートピアホテルでの参加者懇親会、前日理事懇親会を検討中。会場1はオンデマンドの予定なので、多くのディスカッションをして頂きた

い。

第 28 回日本成人先天性心疾患学会学術集会について（齋木理事）

2027/1/22,23 開催予定。

「優しさと強さで ACHD を一歩前へ」というテーマで、プロコムインターナショナルに運営依頼の予定

審議事項

専門医制度について（石津理事、塩瀬理事より）

内科の更新の条件は現状維持。

外科の更新の条件が厳しすぎるとの指摘あり、手術件数を含めたポイント制導入が提案された。キャリアとともに手術件数が減った場合も内科同様のポイント取得で更新可能な柔軟な制度へ移行、早期周知とシステム改善を進める。新規専門医認定のハードル維持と更新条件の緩和のバランスが課題であり、今後検討していく。

宮崎理事より、必要ポイント等をホームページに明示する必要性の指摘があった。将来的にはホームページで保有ポイントが確認できるようになるとよいとの議論があった。

名誉専門医設置案を部会で議論中、急いで新制度を設ける必要はないとの合意が得られた。

麻酔科・産婦人科や多職種の専門性を考慮した新制度設計が提案され、水野理事、落合理事、兵藤理事より賛同する発言があった。中埜理事より、呼称は「認定専門医、認定看護師」が一番しっくりくる、2階建て、3階建てにする案はどうかとの発言があった。坂田理事や庄田理事から、機構認定のものはハードルが高く、学会独自のものが現実的との意見がでた。山岸理事より、多領域で学会員歴何年かで、学会の認定証を、評議員になったらさらに上の認定証を出すことの提案があった。

理事・評議員の募集、改選のスケジュール

9/5 継続意思確認: 赤木理事長、庄田理事、平松理事、大内理事は定年で退任の予定。

9/22 公示

10/20 公募開始

11/21 公募締め切り

12/18 理事会審議

3. 次回理事会日程について

10/30(木)

12/18(木)

4. 閉会